

# 通級指導教室における 言語障害児への生活充実指向型 教育支援プログラムの構築

(課題番号 14651065)

平成14年度～平成16年度科学研究費補助金(萌芽研究)

研究成果報告書

平成17年3月

研究代表者 牧 野 泰 美

(独立行政法人国立特殊教育総合研究所 企画部)

## 序

本報告書は平成 14 年度－平成 16 年度科学研究費補助金（萌芽研究）「通級指導教室における言語障害児への生活充実指向型教育支援プログラムの構築」の成果をまとめたものです。

標題にある「生活充実指向」とは、子どもの障害の改善、能力の向上にのみ目を向けるのではなく、子どもの暮らしを見つめ、子どもの暮らしやすさ、居やすさ、ひいては暮らしの充実を目指すことをいいます。

言語障害教育は言語症状の改善に向けた言語指導を主要な仕事の一つにしてきましたが、症状の改善が困難な場合も含め、子どもに必要な支援は必ずしもそのみとは限りません。通級指導教室は、言語に障害のある子どもの日々の暮らしをいかに支えることができるのか……。このような発想から本研究は生まれました。

言語症状の改善、言語能力の向上に向けて取り組むということは、発想としても捉えやすく、これまでに得られた知見、提唱された指導方法は数多くあります。しかし、暮らしの充実に向けた支援ということに関しては、特に「症状の改善の可能性もある」「通級という限られた時間の指導」という特色を持つ言語障害教育においては、これまでのところ議論に乏しいのが現状です。

本研究は、言語に障害のある子どもの暮らしの充実を目指す支援を、通級指導教室において構築していくための突破口となればと思い企画しました。従って、本報告書は成果報告というよりも、今後の研究・実践の視点を提供するという性格の強いものとなりました。本報告書が今後の活発な議論の礎になれば幸いです。

今回の取り組みにご協力いただいた皆様に深く感謝申し上げますとともに、今後も多くの皆様からご支援・ご助言いただけますよう祈念する次第です。

平成 17 年 3 月

研究代表者 牧野 泰美  
独立行政法人  
国立特殊教育総合研究所  
企画部

平成14年度－平成16年度 科学研究費補助金（萌芽研究）研究成果報告書  
通級指導教室における言語障害児への生活充実指向型教育支援プログラムの構築  
（課題番号 14651065）

## 目 次

### 序

|     |                           |      |    |
|-----|---------------------------|------|----|
| 第Ⅰ章 | はじめに                      | 牧野泰美 | 1  |
|     | 研究の背景及び目的                 |      | 1  |
|     | 研究組織／交付額／本研究に関する発表等       |      | 3  |
|     | 研究経緯と本報告書の構成／本報告書執筆者      |      | 4  |
| 第Ⅱ章 | 通級指導教室における生活充実指向型支援について   | 牧野泰美 | 5  |
| 第Ⅲ章 | 通級指導教室における生活充実指向型支援の実際    |      |    |
|     | ほんの少しだけ僕らにできること…          |      |    |
|     | ーことばの教室物語ー                | 青山新吾 | 9  |
|     | ことばの教室で子どもの暮らしのためにできること   | 伊藤修二 | 27 |
| 第Ⅳ章 | 今後の特別支援教育における生活充実指向型支援の展望 | 松村勘由 | 37 |
| 第Ⅴ章 | まとめと展望                    | 牧野泰美 | 43 |